

2023 年度事業計画書

2023 年度は、下記の事業を実施してまいります。

事業の区分について

1. 研修事業活動 2. 情報収集提供事業活動 3. 普及啓発事業
4. 研究助成事業 5. 情報発信事業

事業区分ごとの事業活動と内容

1. 研修事業活動

イ) 針灸学セミナー講座

医師及び医療従事者を対象に鍼灸理論講義と実践指導を行う。基礎・実技編と応用・実技編修了者に修了書を交付する。開催地は東京と西日本（名古屋）を隔年で設定する。企画・実行のため必要であれば小委員会を設置し、計画を決定していく。

講師：形井秀一

開催地： 東京・八丁堀

開催日： 2023 年 9 月 17 日（日）18 日（祝）

厚生労働省・日本医師会の後援名義を申請予定。

ロ) 中医学研修講座 臨床の部 （協賛 株式会社ツムラ）

医師及び医療従事者を対象に各種疾患について中医診断、方剤決定などを学ぶ。基礎の部 10 講座・臨床の部 10 講座で構成。2023 年度は「臨床の部」で、8 講座以上の受講者には、認定資格取得に必要な 15 単位を付与し、修了書を交付する。なお基礎の部と臨床の部を合わせて修了すると 35 単位の付与となる。

講師：各編中医学に造詣の深い講師のべ 10 名が担当

開催形式：オンライン

開催日：第 3 土曜日 時間：PM 6 時～8 時迄

2023 年 4 月より年間 10 回（8 月 12 月は休講）

資格付与：

- ①公益法人日本薬剤師研修センターの研修認定薬剤師（1 単位/1 講座）
- ②全日本鍼灸学会認定指定講座（1 単位/1 講座）
- ③日本医師会生涯学習認定講座へ登録申請予定

ハ) 次のステップをめざす中医学研修講座（協賛 クラシエ薬品株式会社）

医師及び医療従事者を対象に、具体的な「臨床例」を通じて生きた中医を身につける。全 5 講座で構成する。4 講座以上の受講者には、認定資格取得に必要な 15 単位を付与し、修了書を交付する。

講師：第一線で活躍中の中医師及び中医を専門とする医師のべ 5 名が担当

開催形式：オンライン

開催日：第 4 土曜日 時間：PM 6 時～8 時迄

2023年4月・6月・7月・10月・11月（年間5回）

厚生労働省・日本医師会の後援名義を申請予定。

資格付与：

- ①公益法人日本薬剤師研修センターの研修認定薬剤師（1単位/1講座）
- ②全日本鍼灸学会認定指定講座（1単位/1講座）
- ③日本医師会生涯学習認定講座へ登録申請予定

二）医鍼薬地域連携研究会（DAPA）

医師と鍼灸師、コメディカル（Co-medical / 共同するという意味で使います）との間で患者情報共有をめざし、鍼灸師から医師へ、患者紹介受け入れ医療機関を増やしていく。

●症例検討会

開催形式：オンライン

開催日：第2月曜日 時間：PM8時～（1時間程度）

●医療連携鍼灸師 認定制度

認定基準の講座を全て履修して、受験（レポート提出）・認定（審査）を経た者を、医療連携鍼灸師に認定する。

ホ）新・中医臨床カンファレンス

症例（医案）を事前に配布し、当日に症例案を参加者各自が持参して中医診断、弁証、治法、処方、服薬等をディスカッションする。参加対象に制限はないが、特に「中医学研修講座」「次のステップをめざす中医学研修講座」「医鍼薬地域連携研究会」の受講者に討議の場を提供することを目的とする。

開催形式：オンライン

開催日：第4月曜日 時間：PM8時～（1時間程度）

講師：長瀬眞彦・高橋博樹・菅沼栄

ヘ）中国医学実践通信講座

中国医学の基礎理論から診断、治療の実際までを独自のカリキュラムで講座を進める。自宅で好きな時間に学べるメリットがある。講座は、内科系、外科系、全講座の受講コースがあり、各科選択ができる。毎月1回、受講生はレポートを提出し、担当中医医師が解答と評価を加え戻す。

全科7ヶ月間のトレーニングを修了して中国医学をマスターするよう受講生に啓発を行う。中医学基礎の部とのタイアップも推奨する。

ト）中医学オンラインセミナー

①中医学の基礎講座の販売

全10講座の動画コンテンツを継続して販売。

②中医学の応用講座の販売

全10講座の動画コンテンツ（現在9講座販売中）を継続して販売。

2. 情報収集提供事業

学術誌「東方医学」の発行（The Japanese Society of Eastern Medicine）

広く東方医学に関連する研究成果の発表を主な目的とする。

2023 年度は 1 回発行予定し、全会員及び国会図書館へ配布する。より多くの会員の投稿を期待する。

掲載は、投稿規程内容にもとづき掲載までの過程をチェックし、特に個人情報保護法の規定を厳守しているかどうか審査し、倫理委員会では倫理審査委員会の審査が必要であるか否かを検討・判断し、会員の便宜を図っていくこととする。

3. 普及啓発事業

公益目的支出計画実施事業(内閣府認可継続事業)

●第 4 1 回日本東方医学学術大会の開催

会場：御茶ノ水ソラシティカンファレンス

開催日：2023 年 11 月 26 日

会頭：竹下有先生

●市民公開講座の開催

会場：未定

開催日：未定

会頭：未定

4. 研究開発、及び助成事業

2023 年度は準備年とする。

①花粉症のためお茶「快び」を復活させて、モニターの観察研究を行い、論文と学会発表の準備をする。

②Covid-19 後遺症に対する中医学的治療の観察研究を当会の会員、非会員を問わず広く募り、論文と学会発表の準備をする。

5. 情報発信事業

イ) 本財団と東方医学会のホームページの更新作業を行う。

・学術大会、各種セミナー情報の発信と参加申込み

・一般ユーザー向けに全国の会員施設を紹介

ロ) フェイスブックサイトの活発な運用を行う。

ハ) 医師 60 万人登録の「ヒポクラマイナビ」にアカウントを作り、何らかの連携を図る。

以上

2023 年度 事業予算について

2023 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日まで

公益法人の会計方式を採用している都合上、本来は管理費に計上される業務委託費（人件費、交通費、賃料、通信運搬費、その他の事務所経費等）を、各事業費の支出の中に比率に応じて分けて計上してあります。そのため、管理費の数字が低くなっていますが、収支自体に間違いはありませんので、ご了承ください。

2023 年度の事業計画に対する収入と支出見込

収入見込 9,200,000 円

支出見込 9,200,000 円

（単位：円）

		収入	支出	備考	仕事比率
会費等		4,000,000		入会・年会費 寄付 基金利息含む	10%
事業費		5,200,000	5,200,000		80%
内訳	研修事業	4,000,000	2,800,000	鍼灸学セミナー 中医学研修講座 次のステップ 医鍼薬セミナー 新中医臨床カンファレンス 中国医学実践通信講座 中医学オンラインセミナー	
	情報収集提供事業	200,000	300,000	学術誌 1 回発行	
	普及啓発事業	1,000,000	2,100,000	学術大会	
	研究開発他事業	0	0	BAT 研究など	
	情報発信事業	0	0	Web など	
管理費			4,000,000		10%
		9,200,000	9,200,000		